



豊間根信議員

NPO問題 解決に向けた進行状況は 粛々と作業を進めている

問 裁判を通じて事実と責任の所在を明らかにし、より効果的な対応をしていくとのことであったが、進行状況は。また、今後の対応は。

佐藤町長 第2回口頭弁論を目前に控えており、町の対応の詳細は申し上げられない。
今後の主な対応は、現執行部の責任の取り方を年内に決定すること、債権の確

保、財産の適正な管理に努めること、23年度事業費について県と調整を図ることなどである。

問 第三者委員会から町に報告書が提出されたが、活動は終了したのか。今後の活動は。

甲斐谷副町長 4月2日に報告書の提出を受け、委員会の活動は終了したが、必要に応じて再調査を行う可能性はある。

水産業における課題は

秋サケ回帰率低下への対応

問 グループ補助金等の活用により商業活動が再開し、雇用の促進が図られている。水産業・商工業の復旧・復興状況は。

佐藤町長 水産業は、漁協の養殖施設の復旧が完了し、漁船・漁具の復旧はほぼ完了した。魚市場や作業保管施設の復旧は約4割完了した。今秋からカキの出荷が本格的に始まる。
商工業は、商工会員の約6割が何らかの形で事業を再開している。JR陸中山

田駅前の津波復興拠点地区商業エリアは、27年秋のオープンを目指している。

問 水産業における課題と対応策は。

甲斐谷水産商工課長 秋サケの回帰率低下への対応が課題である。

問 水産業振興策は。

甲斐谷水産商工課長 アカモクに関する調査への協力、漁協等で計画している空き漁場の利活用として、ホヤ養殖への協力を考えている。

復興事業の課題、対応策は

関係機関と密に連携し対応

問 復興事業の進行状況はどうか。

佐藤町長 大沢・山田・織笠地区については、独立行政法人都市再生機構と工事施工等に関する一体的な業務委託協定を締結した。
船越・田の浜・大浦・小

谷鳥地区については、設計積算作業を進めており、町が工事発注を行う。

災害公営住宅は、県が建設している豊間根団地に続き、町が建設する大浦第一団地の工事に、年度内に着手する。

問 課題と対応策は。

佐藤町長 職員の確保、資材・人材不足による入札の不調、地権者との合意形成等が課題である。
国・県等の関係機関と連携を密にして対応していく。



サケふ化場（採卵・受精作業の様子）